

2 「青少年の社会的自立に関する意識調査」

- (1) 青少年調査票
- (2) 保護者調査票
- (3) 青少年調査集計表

「無業者」「求職型」「非求職型」「非希望型」の区分と調査項目の関係

●無業者（157名）

- ・ 青少年調査票Q9で「1. 結婚したことがない」若しくは「4. 結婚したことはあるが、今はそうでない（離婚または死別した）」と回答した者
- ・ 青少年調査票Q27で「12.（上記以外で）無職」と回答したもの

○「求職型」（67名）

- ・ 無業者（157名）のうち青少年用調査票Q34で「1. 求職活動中」若しくは「2. 独立や開業に向けて準備中」と回答した者

○「非求職型」（58名）

- ・ 無業者（157名）のうち、「求職型」（67名）以外で、青少年用調査票Q44で「1. 希望と違う仕事であっても、働きたい」若しくは「2. 希望の仕事があれば働きたい」と回答した者

○「非希望型」（32名）

- ・ 無業者（157名）のうち、「求職型」（67名）「非求職型」（58名）以外の者

※ 集計表で用いた記号等の意味は、次のとおりである。

0 : 回答者がいないことを示す（なお、「青少年の社会的自立に関する意識調査報告書」においては、回答者がいないものを「-」と表記している。）。

M. A. : 1回答者が2以上の回答をすることができる質問（Multiple Answersの略）。